



学校だより



令和5年 8月29日
8・9月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

がんばってるね、と。

校長 樋川 宣登志

ひと月以上の長い夏休み。

4年ぶりに制限のない夏に、子どもたちはたくさん
さんの体験と思い出を胸に学校に戻ってきたこと
でしょう。時間をかけて蓄えた元気と力を次の成
長につなげるために、2学期の授業や行事に努
めていきます。今学期も、ご家庭のご協力をお願
いいたします。

さて、夏休み中の7月末、「全国学力・学習状
況調査」の結果が公表されました。4月、小学6年
の国語・算数、中学3年の国・数・英で実施した
調査です。学力定着の傾向や個人の得意不得
意をとらえ、今後の学習に生かすものです。

東京都の平均正答率は、国語が全国6位（他
3県同率）、算数が全国1位（石川県同率）で、学
習の定着状況は良好といえます。第一小学校の
平均正答率は、国語・算数ともに、その東京都の
数値を10ポイント程度上回っており、概ね良好と
いえます。点数に一喜一憂することはありません
が、これからの学習の仕方のヒントにしたいです。

全国的な傾向を見ると、小学校国語では、「話
や文章の中心を捉える」ことは良好でした。一方、
「情報や条件を踏まえて自分の考えをまとめたり
述べたりする」問題では課題が見られました。

算数では、「問題場面と式を関連付けて読み
取る」ことは良好でした。一方、「数値が示されて
いない場面で、自分で条件を設定して考察する」
問題では正答率が低くなりました。

これらから大まかにいえば、「文章や問題場面
をとらえ、理解して解決する力は十分にある。しか
し、自分の考えを述べたり、自分で条件を整えて

考えを進めたりすることは十分でない。」といえま
す。

今の社会では、理解するだけでなく、自分の考
えをもち表現する力が必要とされます。答えのな
いテーマでも、意見を交流しながら進む方向を見
付けていくことができる力も大切です。

第一小では、子どもたちが深く考え、表現し、意
見を交流する力を伸ばせるよう、各教科でペア・
トークやグループ・トークなど、話し合う活動を大
切にしています。問題の答えを出すだけでなく、自
分がどう考えたかを友達に伝えたり、感じたこと
を伝え合ったりすることを通して、考え表現する楽
しさを感じ、力を伸ばしてほしいです。

ところで、もうひとつの調査結果があります。東
京都が行っている「魅力ある学校づくり」という取
組の中の調査です。第一小の6年生を見ると、
「みんなで何かをするのは楽しい」 79%
「授業に主体的に取り組んでいる」 43%
「授業がよくわかる」 65%
となっています（一部抜粋）。

学校生活を楽しく感じているものの、自分の学
習の取組については、十分と感じていないよう
です。全国学力調査の結果を見る限り、子どもたち
はとてもがんばっているとわたしは思うのですが、
いかがでしょうか。自己評価が厳しいのか遠慮
がちなのか、もっと胸を張っていいのに、と思っ
てしまいます。

しっかりと学力を付けさせるとともに、子ども
たちの成果を認め、「がんばってるね」と伝えてい
きたいです。